

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎…実施済、○…一部実施又は着手、△…検討中、★…変更

平成29年6月13日現在

| マニフェスト項目 | 期間 | 達成状況 | 取り組み内容 |
|---------------------------------------|------|------|---|
| 1 安全で安心して暮らせるまち蕨(防災、防犯、交通安全など) | | | |
| (1) 公民館、市民体育館、市民会館の耐震化促進 | 4年以内 | ○ | 平成27年度に東・南公民館の耐震補強工事等を実施。28～29年度に市民体育館・北町公民館・北町児童館の耐震補強等工事、また、29年度は市民会館・中央公民館・勤労青少年ホームの耐震補強等工事を実施予定。 |
| (2) 上下水道の耐震化と長寿命化促進 | 4年以内 | ○ | 上水道の基幹管路の耐震化率は平成28年度末時点で91.9%(27年度末91.3%)。下水道は、28年度に下水道管路長寿命化基本計画を策定。29年度は、下水道管路調査と詳細計画策定を予定。 |
| (3) 自主防災会への支援強化(避難所運営訓練、スタンドパイプ普及など) | 2年以内 | ◎ | 平成27年度、塚越小学校でモデル的に避難所運営訓練を実施。28年度は5地区の自主防災会各1か所以上へスタンドパイプを配備した。(12自主防災会へ配備) |
| (4) 障害のある方々などへの避難行動支援計画策定 | すぐ実行 | ◎ | 平成27年度、個別計画を策定し、その情報を避難支援等関係者へ提供した。 |
| (5) 家具転倒防止と感震ブレーカーの普及促進 | 4年以内 | △ | 平成27年度より家具転倒防止器具設置等補助事業を開始。27年度の補助件数は15件。28年度は78件。感震ブレーカーは訓練等への展示による普及促進を行った。 |
| (6) 全ての防犯灯のLED化と防犯カメラ設置 | 4年以内 | ○ | 平成28年度中に全防犯灯のLED化を実施。防犯カメラについては、140基分を平成29年度当初予算に計上した。 |
| (7) 自転車の安全利用促進(自転車用ヘルメット普及など) | 4年以内 | ○ | 自転車の安全利用を含む交通安全関連啓発キャンペーンを平成27年度は29回、28年度は29回実施したほか、交通安全教室については、27年度25回、28年度26回実施した。また、自転車ヘルメット申請件数は28年度末で182件(27・28年度の合計)。 |
| 2 子どもたちの未来輝くまち蕨(子育て支援、教育など) | | | |
| (1) 認可保育園の更なる増設と病児保育開設 | 2年以内 | ○ | 認可保育園は、平成27年10月にメリーポピンズ蕨北町ルーム、28年4月に、蕨すこやか保育園、わらびさくらさくほいくえんが開園。また、29年4月には蕨ゆたか保育園が開園。病児保育については、運営事業者の開拓及び、開設場所について検討中。 |
| (2) 全ての市立保育園で土曜日の通常保育 | 2年以内 | ◎ | 平成28年7月より、市立保育園5園で一斉に実施。 |
| (3) 小学校を活用しての学童保育室増設 | 2年以内 | ◎ | 平成28年7月より、南小学校の教室を活用した新室を開設。29年4月には、西小学校の教室を活用した新室を開設したほか、中央東小学校の教室を一時的に活用して新室を開設。北小学校、塚越小学校は、小学校隣接地に整備した新室を29年4月に開設。 |
| (4) 小・中学校トイレの改修促進 | 4年以内 | ○ | 平成27年度に中央小、一中、28年度は東小、南小、二中でトイレ改修を実施。29年度は、西小、中央東小、東中で改修予定。 |
| (5) 教育センター整備とスクールソーシャルワーカー配置 | 2年以内 | ◎ | 平成28年4月に蕨市教育センターを開設するとともに、スクールソーシャルワーカー1名を配置した。スクールソーシャルワーカーは市内小・中学校の教育相談部会等への参加を通じて連携を図るとともに、学校からの相談対応や支援を行っている。29年4月には教育センターに統括相談員1名と日本語特別支援教育支援員1名を配置し、日本語特別支援教室を開設した。日本語による会話などに困難を抱える児童生徒及び保護者の支援を行っている。また、統括相談員の配置により学校や関係機関との連携を図っている。 |
| (6) アウトメディアの更なる推進 | 4年以内 | ◎ | 平成23年7月に蕨市アウトメディア宣言を制定後、アウトメディア推進大会やインストラクター養成講座など、アウトメディア推進事業を実施。28年度はアウトメディア推進大会154人、指導者養成講座12名参加(27年度アウトメディア推進大会人141名、指導員養成講座フォロー講座45名)。28年度に、子どもを様々な被害から守るため、携帯電話・スマートフォンに関するルールを策定。29年度は、各校でその徹底を図る予定。 |

| マニフェスト項目 | 期間 | 達成状況 | 取り組み内容 |
|--|------|------|--|
| 3 みんなにあたたかく健康に暮らせるまち蕨(介護、障害者福祉、健康づくり) | | | |
| (1) ウォーキングや筋トレによる健康まちづくりの推進 | すぐ実行 | ○ | 「ウォーキングと筋力アップで健康密度も日本一プロジェクト」として平成27年9月より実施。参加申込した市民(モニター)は、27年度150名、28年度207名。各年度とも医療費削減効果が検証により確認される。29年度も継続して実施。この事業は健康づくり事業の先進的な取組が評価され、埼玉県より表彰を受けた。 |
| (2) 全てのがん検診の個別検診化 | 2年以内 | △ | 平成27・28年度は乳がん検診・大腸がん検診ともに集団検診として実施。受診勧奨方法の変更等により多くの方に受診していただいていることから、29年度も両検診とも集団検診として実施する方針。 |
| (3) 歯科口腔の健康づくりの推進 | 4年以内 | ◎ | 平成27年度に、20歳の歯科疾患予防推進事業を実施。29年度当初より、妊婦の歯周疾患検診について蕨戸田歯科医師会と契約を締結し、個別受診券の配布を開始した。 |
| (4) 市立病院の地域連携と診療充実、将来構想の策定 | 4年以内 | ○ | 平成27年10月より地域医療連携担当に医療ソーシャルワーカー1名を配置した。また、28年4月1日付けで小児科常勤医師、28年8月1日付けで整形外科常勤医師を採用した。専門外来の拡充としては、乳腺外来の診療について、毎週木曜日の午後診療を午前・午後の1日診療とした。将来構想については、29年度中に策定のための基礎調査を実施し、30年度に策定予定。 |
| (5) だれもが安心して住み続けられる地域包括ケアシステムの構築 | 4年以内 | ○ | 平成28年度より新しい総合事業に移行したほか、以下の取り組みを実施し、地域包括ケアシステムの構築を推進した。 ①在宅医療・介護連携に向けた、医療及び介護関係者の合同研修会、在宅医療講演会を開催したほか、医療・介護連携ネットワーク会議を立ち上げた。 ②認知症地域支援推進員の選任(29年4月より2名に増員)と、認知症サポーター養成講座の実施、認知症カフェを5か所開設した。 ③生活支援体制整備を進める生活支援コーディネーターを選任、地域福祉フォーラム開催、担い手養成研修ほか、地域・福祉・ボランティア関係者による協議体を立ち上げた。 ④介護予防事業として、住民運営の通いの場(いきいき百歳体操教室)を14グループ立ち上げた。 |
| (6) 地域密着型介護施設(ミニ特養)の整備 | 4年以内 | ○ | 戸田市内の社会福祉法人が広域型特養(90床)の開設計画を県に申請し認可されたことから、市は用地提供者へ用地確保奨励金を支出するための要綱を改正し、平成29年度当初予算に計上した。平成29年度に着工予定、31年2月の開設を予定。 |
| (7) 障害者入所施設の広域的検討とグループホーム整備 | 4年以内 | △ | 障害者入所施設について、3市事務協議・調整会議にて情報・意見交換、各障害者団体との懇談を行い、さらには、「障害者入所施設等整備に対する補助拡充」について田中国土交通副大臣を通して国への要望書を提出した。グループホームの整備については、引き続きニーズの把握を行うとともに、重度障害者の受け入れを行っているグループホームの視察を実施。 |
| 4 にぎわいあふれる元気なまち蕨(にぎわい、文化、スポーツ) | | | |
| (1) 中心市街地活性化基本計画の着実な推進 | 4年以内 | ○ | 計画に掲載の事業のうち、東口コミュニティショッピング道路整備事業については、平成28年度に事業が完了したほか、ワンデイシェフレストラン「ぷらっと」にぎわい強化事業については、「ぷらっと」を28年10月から店舗運営体験とカフェ機能を併設した「クアッカ わらびチャレンジレストラン」としてリニューアルオープンした。また、四季を味わう“日曜日のタベ”交流会事業については、11月に中心市街地8商店街が連携して、「週末にぎわい交流会」を開催し、多くの市民に商店街へお越しいただいた。わらびりんごビジネス展開事業については、27年度にわらびりんごサイダーを商品化し、28年度も機まつりや各種農業イベントにおいて販売した。計画掲載事業42事業中17事業(約40%)を実施。 |
| (2) 蕨の玄関口にふさわしい蕨駅西口再開発の推進 | 4年以内 | ○ | 平成28年度は、商業需要調査の実施による施設建築物等計画素案の改良、改善や関係機関との協議など、都市計画の変更に向けた準備組合の活動に対し、必要な協議、支援を行った。 |
| (3) 蕨ブランドやシティプロモーションの推進 | 2年以内 | ◎ | 蕨らしさを有した優れた商品を審査し、蕨ブランドとして認定する、蕨ブランド認定制度を平成28年度から開始。募集・審査を実施し、市内5事業者・5件を蕨ブランドとして認定した。29年2月にイトーヨーカドー錦町店でお披露目を開催したほか、蕨市消費生活展で展示・即売を行った。また、わらびりんごや双子織、成人式発祥の地といったまちの魅力を新聞などを通してPRしたほか、蕨市PR大使に元AKB48の松井咲子さん、将棋女流棋士の中井広恵さんに就任いただき、情報を発信していただいている。子育て世代の定住促進に向け、子育てしたいまち情報冊子(5,000部・2年間分)を28年10月に作成し、不動産業者などへ配布したほか、市ホームページに子育て世代向け特設ページを開設した。まちの魅力発信に向け、29年3月に制作したまちのPR動画をはじめ、ケーブルテレビで放映したイベントなどの動画を配信(youtube・市ホームページ)した。29年3月にわらびシティプロモーション指針を作成した。 |
| (4) 空き店舗有効活用の更なる推進 | 4年以内 | △ | 一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会による独自の物件抽出や所有者・不動産事業者との連携強化に取り組んでおり、平成28年度は、空き店舗有効活用事業を活用して、3店舗が開業した。また、より市内創業へとつながるように、従来のコミュニティビジネス講座を、座学と店舗経営をセットにした実践的な内容に変更し、創業希望者の育成に取り組んでいる。 |
| (5) 音楽や河鍋暁斎美術館と連携したまちづくり | 4年以内 | ◎ | 音楽によるまちづくり懇談会より提出された提言書に基づき、平成27年度から「蕨市民音楽祭」、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」、「子ども音楽大学わらび」の各事業を実施した。また、27年8月に河鍋暁斎記念美術館との連携協定を締結し、市役所や蕨駅東西口エレベーター内に企画展・特別展のチラシを掲示したほか、市ホームページに暁斎の特設サイトを設け、暁斎の紹介やWinkで放送した動画を配信。広報蕨の28年6月号からは、美術館との協働で美術館作品の紹介記事の連載を開始した。 |
| (6) 錦町スポーツ広場の人工芝化(グランドゴルフ、少年サッカー、フットサルなど) | 4年以内 | ○ | 平成28年度に人工芝化等の改修工事に係る設計をした。平成29年度は改修工事を実施予定。 |

| マニフェスト項目 | 期間 | 達成状況 | 取り組み内容 |
|--|------|------|--|
| 5 環境にやさしく暮らしやすいまち蕨(まちづくり、環境) | | | |
| (1) ぷらっとわらびのルート拡充(4台運行、逆回りなど) | 4年以内 | △ | ルート拡充案の作成に向け、アンケートを実施した。アンケート配布数3,630。回収数1,768。回収率48.7%。 |
| (2) 住民票等のコンビニでの発行 | 2年以内 | ◎ | 平成29年6月1日より「住民票の写し」、「印鑑登録証明書」、「戸籍謄抄本」、「戸籍の附票の写し」の4種類の証明書のコンビニエンスストアでの交付サービスを開始した。これにより市内22店舗、全国で約5万店のマルチコピー機が設置されているコンビニエンスストアで証明書の取得が可能となる。 |
| (3) 錦町区画整理事業の促進 | 4年以内 | ○ | 平成28年度は、家屋移転19戸に加え、延長456.2mの街路築造、延長121.4mの舗装新築工事等を実施した。整備面積は、平成27年度は0.9ha、28年度は0.8haの整備を行った結果、28年度末では50.2haとなった。 |
| (4) 中央第一地区まちづくりの推進 | 4年以内 | ○ | 道路等の地区公共施設の整備を進めており、平成27年度には、中央第一ぶち広場を整備し、供用を開始するとともに、地区公共施設用地を10件、約236㎡取得し、28年3月末時点の取得済面積を約457㎡とした。平成28年度には地区公共施設用地を3件、約124㎡取得し、29年3月末時点の取得済面積を約581㎡とした。 |
| (5) 花いっぱい運動の更なる推進 | 4年以内 | ○ | 平成28年度の花苗配布数は43,757鉢(27年度は40,447鉢)。また、公園等自主管理団体にリサイクルフラワーセンターを活用した花苗の植栽や、花壇の管理などの協力をいただき、公園等に植栽する花苗の鉢数(28年度20,951ポット)を増やしているほか、花いっぱい運動を積極的に推進している団体を表彰し功績を称えることで、各地域への波及効果や環境美化に対する意識の向上を図っている。 |
| 6 みんなで創る未来に続くまち蕨(協働、将来戦略、財政健全化) | | | |
| (1) 協働事業提案制度の充実 | 4年以内 | △ | 協働事業提案制度に関するアンケート調査の実施に向けた検討を行った。 |
| (2) 防災や見守りなど民間団体・企業との連携・協定の促進 | 4年以内 | ◎ | 災害協定は、平成27年度2件(蕨ケーブルビジョン(株)、(公社)日本下水道管路管理業協会)、28年度は2件(埼玉司法書士会、蕨市管工事指定店組合)締結。見守り協定は27年度に3件(公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会南彩支部、布亀(株)、ワタミ(株))、28年度に3件(医療生協さいたま生活協同組合、(株)セブン-イレブン・ジャパン、生活クラブ生活協同組合埼玉)締結した。 |
| (3) 人口減少社会に対応した蕨版総合戦略の策定 | すぐ実行 | ◎ | 平成27年10月、「蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。28年7月には、「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」を開催し、計画の検証を行った。 |
| (4) 三世代ふれあい家族住宅取得支援事業 | すぐ実行 | ◎ | 平成27年10月、蕨市三世代ふれあい家族住宅取得補助金交付要綱を施行し事業を開始した。広報及びHP掲載、新築マンションへの宣伝活動等を行い周知に努めるとともに、29年5月には「住宅金融支援機構と蕨市の子育て支援に係る相互協力に関する協定」を締結した。 |
| (5) ふるさと納税の拡大と市税等収納率の更なる向上 | 4年以内 | ○ | ふるさと納税については、平成28年9月末より返礼品制度及びインターネット受付を導入した。市税等収納率の向上については、収納状況や滞納整理について研究・実施を行い、積極的な収納率向上に努めた。 ※市税収納率は、27年度は93.1%、28年度は93.7%。 |
| (6) 市借金の更なる削減と土地開発公社の経営健全化 | 4年以内 | ○ | 平成28年度決算では、市全体借金残高は約306億9,000万円。前年度末の借金残高と比べて、約4億8,700万円の削減(26年度末比約8億1,000万円の削減)となった。土地開発公社については、第3次土地開発公社経営健全化計画に基づき、27年度は約8億7,800万円の土地を処分し、年度末借入残高は約38億9,100万円となった。28年度は約2億6,300万円の土地を処分し、年度末借入残高は約36億2,800万円となった。 |

※「すぐ実行」：平成27年度に実行・着手、「2年以内」：平成29年度までに実行・着手、「4年以内」：平成31年5月末までに実行・着手

| | | |
|----------|-----|-------|
| 実施済み | ◎ | 13 |
| 一部実施又は着手 | ○ | 18 |
| 検討中 | △ | 6 |
| 変更 | ★ | 0 |
| 合計 | | 37 |
| 達成度 | ◎、○ | 83.8% |